



この間ダークナイトが
シルヴァの魔法で
小さくなっていただけろう

あの魔法を研究
していたんだ

ほお

しかし二人は本当に
そっくりだな
シルヴァの耳が尖って
無かったら
見間違いそうだな

似ているのは
当然だ

シルヴァは俺たち
2人の愛の結晶
なのだからな

ま...まあ
そうなのだが...

俺にはバッドステータスは
効かないはずなんだが
シルヴァのこの魔法は
効くんだった

おお...!
流石シルヴァだな

いつもはその...
た...遅しいが...
今のその子供の姿は
非常に可愛いな

ありがとう
ダークナイトも
いっただって
可愛いぞ!

かわ...っ

ひ...膝に座っても
良いぞほら

いつもはお前の膝に
座っているからな

では
お言葉に
甘えて...

ダークナイトの
膝はすべすべで
柔らかくて
気持ちいいからな
自慢の奥さんだ

か…可愛い…
したい…この状態の
シャイニングホワイトと
セックスしたい…!

あらあぁ

いつも一方的に
責め立てられているが
今の状態なら私が
優位に立てる…!

ダークナイト

興奮が
伝わってくるぞ

んわ

私の責めにあえぐ
シャイニング
ホワイトが
見られるかも
しれない…♡

い…いやその…
お前のその姿が
本当に愛らしくて
だな…

んわ

惚れ直したか!

ま…まあ…
否定はせんが…



今日は私が
リードするからな…！！
覚悟しろ
シャイニングホワイト！

すすっ







姿は子供だが中身は変わってないからな？

ちゅ

ちゅ



だがいつもより小さいちんぽだからダークナイトのナカが広く…深く…

どこまでも挿入っていく感じで…新鮮だな…！

こっちはいつもどおり感じまくつてゐるんだが…！？

おおおん

は

お





今回も分からされた
ダークナイトさんであった

